

2023年度 学校自己評価・点検

教育目標

つよく・あかるく・かしこい子の育成

- つよく … しっかりとした心と強い身体を持った子
- あかるく … 豊かな情操を持ち快活でおもいやりのある子
- かしこい子 … 物事のけじめがわかり主体的に行動できる子

学年目標の達成評価

【A：達成されている B：ほぼ達成されている C：あまり達成されていない D：達成されていない】

	評価項目	結果	理由
満3	援助を受けながら基本的生活習慣を身につける	A	入園時期や月齢など、個人差はあるが、日々の生活の中で繰り返し援助することで、ほめたり意欲的に取り組めるよう声をかけてきた。できたことを認めていくことで、次への意欲につながるよう、言葉だけではなく絵本なども活用し、援助を行った。その結果、身支度や手洗い、トイレなどの基本的生活習慣は身についた。
	保育者との信頼関係を深め、好きな遊びを楽しむ	A	日々の遊びを中心に関わり、子どもの興味関心を知ることで、信頼関係を深めてきた。遊びも飽きないで続けられるよう、次の遊びへの切り替え、時に意欲的に楽しんで取り組めるよう声をかけ工夫してきた。また同時に皆で同じことをすることの楽しさを伝えてきた。入園当初はゆったりとした環境の中でじっくり遊びこめるような時間配分を意識したことで、自分の好きな遊びも楽しむことができた。個々に対応し、関わりを深めていったことで保育者との信頼関係も深まり、自分の気持ちを伝えられるようになった。
年少	園生活や基本的な生活の仕方が分かる	A	身支度の流れ、手洗いなど自分でしっかり理解し、出来るようになった。支度が終わったら外へ行く、という取り組みも功を奏した。
	心のやすらぎをもって行動する	A	園生活を楽しみ、門から一人で登園する子どもも多くなった。様々な経験を得て、自信へとつながり、何事にも意欲的に挑戦してみようとしている。
	友達や先生と遊ぶ楽しさや喜びを得る	A	入園当初は「一人で」「先生と」遊ぶことが多かったが、色々な友達と関わる中で、友達や先生を誘い合い、色々な遊びを楽しむ姿が見られた。

2023年度 学校自己評価・点検

学年目標の達成評価

【A：達成されている B：ほぼ達成されている C：あまり達成されていない D：達成されていない】

	評価項目	結果	理由
年中	園生活に必要な基本的な生活習慣やきまりを身につける	A	・1日の流れを確認し、見通しを持って活動に取り組むことができるようになった。 ・順番を守る、人の前を通らないなどのきまりを守り、生活することができる。
	信頼感をもって自主的に行動する	A	・活動の際に話し合いの場を意図的に設けたことで、自分の意見を友達に伝えたり、聞く力が伸びた。また、活動だけでなく、遊びのなかでも自然と子ども同士で話し合う姿がある。
	友達との遊びや体験を楽しんで広げていく	A	・消極的だった子どもも、保育者や友達を楽しんでいるのを見て、様々な遊びに興味を持つことができるようになった。また、ルールが分かりやすい集団あそびを主活動に多く取り入れたことで、みんなが楽しんで遊びに参加できるようになり、沢山の経験につながった。
年長	園生活に見通しをもって行動し、自らよりよい園生活を営もうとする	A	片付けの時間や1週間の活動を掲示したことで、子ども自身見通しを持って取り組んでいた。2学期後半には制作の期日を決め、自由活動の中で取り組めるようにしたことで、自分で考え、見通しを持って主体的に取り組む姿が見られた。
	自然や社会生活と関わり、感謝の念や規範意識を持って行動する	A	クラス目標を自分達で考え決めたことで、守ろうと声を掛け合ったり、意識して行動していた。園外学習を通し、地域の仕事に興味を持つと共に、道の歩き方や公園でのマナーを実践したり、道に落ちているゴミに気付き、SDGsにつながったり決まりを守る必要性を一人ひとりが感じ取れるようになった
	自己を発揮し、友達との関わりを深めていく	A	自分の考えや意見を相手に伝えながら遊びを発展させていった。共通したひとつのことをみんなが継続して遊び込むことが多かった。そこから友達との交友関係の広がりがみられた。
	主体的に様々な環境に関わり、考え工夫し表現する	A	泥団子作りを通し、土の性質に気付いたり、水の分量や作り方に探求心を持って考え、継続して遊び込んでいた。

2023年度 学校自己評価・点検

今後取り組むべき課題

	課題	具体的な取り組み方法
満3	トイレトレーニングは個人差があるので、今以上にまめで細やかな個別の対応が必要	今までも個別対応をしてきたが、さらに一人ひとりに合わせた時間など細やかに対応していくことで、スムーズにパンツへの移行ができると思う。また、保護者との連携を取りながら、意識を高めて個別に対応する。
年少	朝の自由活動	・支度が終わったら外へ遊びに行くという取り組みはとても良かった。早い段階で保護者の方に知らせることで登園時間も守ってくれる。寒い時期でも進んで戸外へ行き遊んでいたことで、体力もつき、感染症等の予防につながり、欠席も少なかった。
	机でのグループ活動	・三学期から始めたグループ活動は、良い効果を生んだため、もう少し早く始めても良かったと思う。 ・継続して年中でも行っていきたい。その中で段階をふんで話し合う場を多く設けていく。
年中	自主的に生活の場を整える習慣を身に付ける	・園庭のおもちゃやトイレのスリッパ、室内の片付けが済んだことを確認してから朝の活動を進める。（最初は皆で確認する時間を設ける） ・園全体の場を整えることの心地良さや充実感を味わうことができるような活動を取り入れる。
	言い方を気を付ける	・ごっこあそびなどの遊びを通して様々な言い方を知る。 ・伝え方についての話し合いを定期的に設けていく。
	自然との関わりを深める	・年間を通して図鑑を使うと共に、カリキュラムにも積極的に図鑑を使った活動を入れていく
	身だしなみ	・ボタンの掛け間違い（1つ多いボタンについて相談する） ・すそをしまう習慣を身に付けたい。トイレが済んだらすぐにシャツをしまえるようトイレにパネルを貼る。
年長	年長としての役割	・泥団子コーナーの管理、運営 ・羽子板など玩具の管理、片付け ・外階段の掃除
	グループ活動	人数や内容を段階的に達成できるように年間を通して計画する
	主体的な行動	話し合いの時間や行事に向けた活動の時間を確保し、より計画的に子ども達と決めていけるようすすめていく。

2023年度 学校自己評価・点検

教育水準向上の取り組み

種類	具体的な内容	自己評価・点検
<p>幼児教育の内容・方法の改善として</p>	<p>音楽講師による定期的な音楽指導を行い、鍵盤ハーモニカや鈴、カスタネットといった子ども用楽器の他、子供用ではない楽器に触れたり音楽に親しむ教育を実施。</p> <p>運動会で年長組は鼓笛隊演奏と旗表現、年中組は全員でリズム感を共有するエアドリム、年少組はリトミックを取り入れた演目を行う。</p> <p>音楽会では、大きなホールを借りて、リズムあそびや合奏を行う。</p>	<p>継続して音楽講師に来ていただいております、年度の変わり目で途切れることなく、3年間のカリキュラムを通して質の高い音楽教育を行っていると感じている。</p> <p>特に今年度の年長組は、鼓笛隊に加えて旗表現を取り入れ、リズム感の習得や表現の幅を広げることができた。</p> <p>音楽会は今年度も中央公民館で行い、本物の舞台・本物の音響・本物の照明・本物の客席の中で存分に表現することができた。</p> <p>音楽劇は、子どもたちと一緒にセリフや動きを考え創っていき、日常からの劇あそびを昇華させたものとなった。一人ひとりが役になりきり楽しみながら、みんなで創り上げた喜びが感じられた。</p> <p>また、年長組の劇では客席から魔女役が登場し、スポットライトで照らす、年中組の劇では季節感を出す特殊背景を使用するなど、公民館ならではの演出を取り入れ、子どもたちの表現をいっそう引き立たせることができた。</p>
<p>幼児教育の内容・方法の改善として</p>	<p>グラウンドの他、天然芝生や起伏のある丘や雑木林といった多様なエリアを活用し、子供たちが運動や遊びを通して、体力を身に付けていくという教育活動を実施。</p>	<p>各学年、それぞれ専用の場所を確保し、野菜や植物の栽培を種植えから行ったことで、食育・植物への興味関心が特に高くなったと感じた。観察記録をつけたり、絵を描いたり、造形活動にもつながっていった。（年少はミニトマトとちゅうりっぷ、年中はあさがお、年長はジャガイモと大根）</p> <p>また、年長組は草むしりや間引きなども自分たちで行い、その後調理にも関わるなど、食育としての効果も大きかった。</p> <p>外遊びは、昨年度に引き続き、皆が総合遊具や芝生、みどりの丘といった複数のエリアに親しめるよう意識し、体育のカリキュラムへの組み込みを講師と相談するなどの実践をした。また、ネイチャーゲームを行い、各々の植物の特徴や変化に気付いたり自然の恩恵を感じることもつながっていった。</p> <p>芝生エリアについては、傷み軽減策として芝生の縁に人工芝を敷設したところ、放熱や吸水の部分で天然芝との違いが際立ち、年長組の熱さ比較体験などにつなげることができた。</p> <p>さらに、泥団子づくりのブームから、それぞれのエリアごとの違いをより実感し、活かす遊び・経験に繋がった。</p>

2023年度 学校自己評価・点検

学校関係者評価

- ・ 学年目標の達成評価がすべてAとなっている理由は何か
→ (園職員コメント)
今年度は特に各学年ごとの個性が強く、また季節や行事などの時期ごとに興味関心が強くなったり移っていくことが多かった。
(例：春～夏の虫捕り、秋～の泥団子、冬の郵便ごっこ)
それらの子どもたちの姿から表現されたもの・タイミングに合わせて、学年目標を絡めて環境の構成や教育・保育を行ったため、多く達成できたと考えている。
- ・ 前年度の「今後取り組むべき課題」についての達成状況等はどうか
→ (園職員コメント)
年度の振り返りは職員会議で共有する他、学年間の引継ぎでも話題に出て、学年の達成目標に組み込まれるものもあり、達成されるよう進めている。
「片付け」など引き続き取り組む必要があるものは継続していく。
- ・ 行事アンケートの評価が高く、特に園の取り組みを理解している保護者が多い点が素晴らしいと思う。
- ・ 教育水準向上の取り組みについては、継続して行っていることが学年を越えて効果が表れていると感じる。特に自然環境を活かした活動は、園の特徴でもあるので、引き続き園児の多様な経験に繋がるようしてもらいたい。

実施日：2024/3/29